

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成20年11月14日

【四半期会計期間】 第86期第2四半期
(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)

【会社名】 フジ日本精糖株式会社

【英訳名】 Fuji Nihon Seito Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 江口達夫

【本店の所在の場所】 東京都中央区日本橋茅場町一丁目4番9号

【電話番号】 03 - 3667 - 7811 (代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員管理本部本部長 福田弘

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区日本橋茅場町一丁目4番9号

【電話番号】 03 - 3667 - 7811 (代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員管理本部本部長 福田弘

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

連結経営指標等

回次	第86期 第2四半期 連結累計期間	第86期 第2四半期 連結会計期間	第85期
会計期間	自平成20年4月1日 至平成20年9月30日	自平成20年7月1日 至平成20年9月30日	自平成19年4月1日 至平成20年3月31日
売上高 (千円)	7,781,040	4,475,506	13,041,230
経常利益 (千円)	695,665	334,143	1,293,366
四半期(当期)純利益 (千円)	298,001	72,353	822,200
純資産額 (千円)		11,415,984	11,306,243
総資産額 (千円)		18,013,206	15,020,692
1株当たり純資産額 (円)		414.05	414.41
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	10.91	2.65	30.05
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)			
自己資本比率 (%)		63.0	75.3
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	377,409		647,963
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	1,538,566		176,640
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	639,790		500,655
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)		1,268,742	1,790,154
従業員数 (名)		102	68

(注) 1 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

4 キャッシュ・フローの は、現金及び現金同等物の純支出を示しております。

5 当連結会計年度の第1四半期連結会計期間においてユニテックフーズ株式会社を子会社化したことに伴い、前連結会計年度に比べ総資産及び従業員数が増加しております。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結会計期間において、当社グループ（当社並びに当社の子会社及び関連会社）において営まれる事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

3 【関係会社の状況】

当第2四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4 【従業員の状況】

(1) 連結会社における状況

平成20年9月30日現在

従業員数(名)	102(27)
---------	---------

(注) 1 従業員数は就業人員であります。

2 従業員数の()は、臨時従業員の当第2四半期連結会計期間の平均雇用人員で外数であります。

(2) 提出会社の状況

平成20年9月30日現在の従業員数(就業人員)は68名であります。

また、臨時従業員の当第2四半期会計期間における平均雇用人員は20名であります。

第2 【事業の状況】

1 【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

当第2四半期連結会計期間における生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(a) 生産実績

事業の種類別セグメントの名称	当第2四半期連結会計期間(千円)
精糖	2,973,748
機能性素材	183,277
合計	3,157,026

(注) 1 上記の金額は、販売価格によっております。
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(b) 商品仕入実績

事業の種類別セグメントの名称	当第2四半期連結会計期間(千円)
精糖	68,626
機能性素材	780,598
合計	849,224

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当社グループは受注生産を行っておりません。

(3) 販売実績

当第2四半期連結会計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第2四半期連結会計期間(千円)
精糖	3,114,462
機能性素材	1,195,992
不動産	165,051
合計	4,475,506

(注) 1 上記の金額は、セグメント間取引を相殺消去しております。
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	当第2四半期連結会計期間	
	販売高(千円)	割合(%)
双日(株)	2,527,802	56.5

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

3 【財政状態及び経営成績の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社並びに当社の子会社及び関連会社）が判断したものであります。

なお、前年同期の比較につきましては、四半期連結財務諸表について監査法人による四半期レビューを受けておりませんので参考数値として記載しております。

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結会計期間のわが国経済は、米国サブプライムローン問題に端を發した金融市場の混乱や穀物相場の高騰、原油や原材料の一段の高騰により、企業収益は悪化傾向にあり、設備投資の減少、個人消費の停滞もあり景気の減速感が強まる中で推移しました。

この様な環境下、当社グループは、「食の安全」への要請が高まるなか、食品会社として相応しい工場環境創りに努力し、安心・安全な製品の安定供給を最重要課題として取り組んでまいりました。

また、本年5月株式取得により子会社となりましたユニテックフーズ株式会社とのシナジー効果を高め、機能性食品分野での事業展開を拡大し、加速すべくアプリケーション開発などに鋭意取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間の業績は、売上高4,475百万円（前年同期比33.5%増）、営業利益334百万円（同3.7%減）、経常利益334百万円（同19.5%減）、四半期純利益72百万円（同82.4%減）となりました。

事業の種類別セグメントの状況は以下のとおりであります。

精糖事業

精糖事業の売上高は3,114百万円（前年同期比6.2%増）、営業利益242百万円（同3.5%増）となりました。これはガソリンの高騰による観光や外食などの手控えにより砂糖の消費が落ち込む懸念がありましたが、飲料メーカーなどの新たな需要もあり、堅調に推移しました。このような状況の中、当社は顧客第一の営業に努めた結果、業務用グラニュー糖の販売数量が増加したこと等で増収増益となりました。

機能性素材事業

機能性素材事業の売上高は1,195百万円（前年同期比426.9%増）、営業損失7百万円（同57.2%減）と増収となり、損益面で改善いたしました。当第2四半期連結会計期間からユニテックフーズの同四半期連結会計期間の売上高及び営業利益が含まれております。機能性食品素材「イヌリン」は脂肪代替機能を中心とした用途開発、認知度向上及び副産品の売価アップに努めました。また、仕入商品は原材料価格の急激な上昇によりユーザーの購買意欲が衰えたことにより売上高は減少しました。食品添加物は受託業務を中心に順調に推移しました。切花活力剤「キープ・フラワー」は家庭用製品および流通向けの新製品の販路開拓に努力を傾けましたが、諸物価高騰による消費者の節約志向が強まる中、切花の消費環境は非常に厳しい状況で推移しました。

不動産事業

不動産事業の売上高は165百万円（前年同期比13.7%減）、営業利益142百万円（同16.9%減）となりました。不動産賃貸収入は順調に推移しましたが、その他不動産事業が減少したこと等により、減収減益となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産、負債、純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ19.9%増加し18,013百万円となりました。これは主に、当連結会計年度の第1四半期連結会計期間において、株式取得によって子会社となりましたユニテックフーズ株式会社の新規連結による影響であります。

資産

資産につきましては、流動資産で前連結会計年度末に比べ33.7%増加し7,116百万円となりました。これは主に新規連結による受取手形及び売掛金、たな卸資産の増加等によるものであります。

また、固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ12.4%増加し10,896百万円となりました。これは主に、新規連結によるのれんの計上等によるものであります。

負債

負債につきましては、流動負債で前連結会計年度末に比べ130.2%増加し4,749百万円となりました。これは主に新規連結による買掛金の増加、短期借入金の増加等によるものであります。

また、固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ11.9%増加し1,847百万円となりました。これは主に、新規連結による長期借入金の増加等によるものであります。

純資産

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1.0%増加し11,415百万円となりました。これは主に、四半期純利益の計上及び新規連結に伴う少数株主持分の計上等によるものであります。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末より12.3%減少し、63.0%となりました。

(3) キャッシュ・フローの分析

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ521百万円減少し、1,268百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結会計期間において営業活動の結果得られた資金は、621百万円（前年同期比34.0%増）となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益の計上や、預け金が減少したこと等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結会計期間において投資活動の結果使用した資金は、228百万円（前年同期 144百万円収入）となりました。これは主として関係会社に対する貸付金の支出等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結会計期間において財務活動の結果使用した資金は、86百万円（前年同期比52.6%減）となりました。これは主として、長期借入金の返済による支出等によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結会計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結会計期間の研究開発費等に係る会計基準による研究開発活動の総額は、7百万円であります。

第3 【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第2四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第2四半期連結会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設、除却等はありません。

第4 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	110,000,000
計	110,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成20年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成20年11月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	29,748,200	29,748,200	東京証券取引所 市場第2部	
計	29,748,200	29,748,200		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成20年9月30日		29,748,200		1,524,460		2,366,732

(5) 【大株主の状況】

平成20年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
双日株式会社	東京都港区赤坂6-1-20	8,153	27.40
塩水港精糖株式会社	東京都中央区日本橋堀留町2-9-6	2,274	7.64
鈴与株式会社	静岡県静岡市清水区入船町11-1	1,402	4.71
和田製糖株式会社	東京都中央区日本橋蛸殻町1-6-11	1,226	4.12
有限会社ブラン	東京都世田谷区成城8-4-3	1,016	3.41
野村信託銀行株式会社(信託口)	東京都千代田区大手町2-2-2	933	3.13
株式会社静岡銀行 (常任代理人 日本マスタートラスト信託銀行株式会社)	静岡県静岡市葵区呉服町1-10 (東京都港区浜松町2-11-3)	792	2.66
株式会社榎本武平商店	東京都江東区新大橋2-5-2	558	1.87
新潟県砂糖卸荷受商業協同組合	新潟県新潟市中央区南万代町3-37	500	1.68
東京海上日動火災保険株式会社	東京都千代田区丸の内1-2-1	447	1.50
計		17,302	58.16

(注) 上記のほか、当社は自己株式 2,336千株(7.85%)を所有しております。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成20年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 自己保有株式 2,336,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 26,742,000	26,742	
単元未満株式	普通株式 670,200		
発行済株式総数	29,748,200		
総株主の議決権		26,742	

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が 14,000株(議決権 14個)含まれております。

【自己株式等】

平成20年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) フジ日本精糖株式会社	中央区日本橋茅場町 1 4 9	2,336,000		2,336,000	7.85

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成20年 4月	5月	6月	7月	8月	9月
最高(円)	280	275	310	297	291	295
最低(円)	251	261	262	275	281	265

(注) 株価は東京証券取引所市場第2部におけるものであります。

3 【役員の場合】

前事業年度の有価証券報告書提出後、当四半期報告書提出日までの役員の異動はありません。

第5 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、当第2四半期連結会計期間(平成20年7月1日から平成20年9月30日まで)及び当第2四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)については、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成20年8月7日 内閣府令第50号)附則第7条第1項第5号のただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第2四半期連結会計期間(平成20年7月1日から平成20年9月30日まで)及び当第2四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,149,777	1,481,233
受取手形及び売掛金	1,511,158	626,815
有価証券	121,965	311,920
商品及び製品	1,228,436	389,684
仕掛品	104,348	100,782
原材料及び貯蔵品	884,926	646,961
預け金	-	¹ 1,164,582
その他	² 2,119,184	601,634
貸倒引当金	3,020	500
流動資産合計	7,116,776	5,323,113
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	730,785	688,666
機械装置及び運搬具(純額)	206,338	227,538
土地	2,048,834	2,048,834
その他(純額)	73,789	54,896
有形固定資産合計	³ 3,059,748	³ 3,019,936
無形固定資産		
のれん	1,141,187	-
その他	86,605	68,976
無形固定資産合計	1,227,792	68,976
投資その他の資産		
投資有価証券	4,773,318	5,027,848
その他	1,858,586	1,648,419
貸倒引当金	23,016	67,602
投資その他の資産合計	6,608,888	6,608,665
固定資産合計	10,896,430	9,697,578
資産合計	18,013,206	15,020,692

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	919,817	89,997
短期借入金	2,364,830	922,000
未払法人税等	256,103	307,669
賞与引当金	104,659	78,963
役員賞与引当金	6,420	12,890
その他	1,098,079	651,713
流動負債合計	4,749,909	2,063,234
固定負債		
長期借入金	583,700	400,000
退職給付引当金	595,385	615,713
役員退職慰労引当金	93,037	74,100
持分法適用に伴う負債	120,411	108,322
その他	454,779	453,078
固定負債合計	1,847,313	1,651,214
負債合計	6,597,222	3,714,448
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,524,460	1,524,460
資本剰余金	2,508,277	2,499,950
利益剰余金	7,583,434	7,558,261
自己株式	547,921	576,683
株主資本合計	11,068,249	11,005,988
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	285,977	306,327
繰延ヘッジ損益	4,416	6,072
評価・換算差額等合計	281,561	300,254
少数株主持分	66,172	-
純資産合計	11,415,984	11,306,243
負債純資産合計	18,013,206	15,020,692

(2)【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	7,781,040
売上原価	5,779,986
売上総利益	2,001,054
販売費及び一般管理費	1,365,872
営業利益	635,182
営業外収益	
受取利息	26,272
受取配当金	38,841
持分法による投資利益	24,519
その他	6,828
営業外収益合計	96,461
営業外費用	
支払利息	17,356
匿名組合投資損失	15,072
その他	3,550
営業外費用合計	35,978
経常利益	695,665
特別利益	
投資有価証券売却益	5,183
貸倒引当金戻入額	2,500
その他	26
特別利益合計	7,710
特別損失	
減損損失	15,808
投資有価証券評価損	171,126
その他	2,908
特別損失合計	189,843
税金等調整前四半期純利益	513,532
法人税、住民税及び事業税	255,674
法人税等調整額	43,590
法人税等合計	212,083
少数株主利益	3,447
四半期純利益	298,001

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	
売上高	4,475,506
売上原価	3,347,464
売上総利益	1,128,041
販売費及び一般管理費	1 793,296
営業利益	334,745
営業外収益	
受取利息	13,150
受取配当金	7,711
その他	3,970
営業外収益合計	24,832
営業外費用	
支払利息	11,498
匿名組合投資損失	5,975
持分法による投資損失	4,771
その他	3,188
営業外費用合計	25,434
経常利益	334,143
特別利益	
貸倒引当金戻入額	2,500
特別利益合計	2,500
特別損失	
減損損失	12,155
投資有価証券評価損	101,136
その他	1,596
特別損失合計	114,888
税金等調整前四半期純利益	221,754
法人税、住民税及び事業税	194,691
法人税等調整額	48,738
法人税等合計	145,953
少数株主利益	3,447
四半期純利益	72,353

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	513,532
減価償却費	75,292
のれん償却額	24,280
減損損失	15,808
賞与引当金の増減額(は減少)	11,171
役員賞与引当金の増減額(は減少)	6,470
貸倒引当金の増減額(は減少)	45,471
退職給付引当金の増減額(は減少)	20,328
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	5,430
受取利息及び受取配当金	65,114
支払利息	17,356
持分法による投資損益(は益)	24,519
投資有価証券売却損益(は益)	5,183
投資有価証券評価損益(は益)	171,126
売上債権の増減額(は増加)	130,834
たな卸資産の増減額(は増加)	280,811
預け金の純増()減	1,164,582
その他の流動資産の増減額(は増加)	1,059,145
仕入債務の増減額(は減少)	50,144
その他	22,503
小計	594,729
利息及び配当金の受取額	111,237
利息の支払額	21,050
法人税等の支払額	307,506
営業活動によるキャッシュ・フロー	377,409
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	56,627
有形固定資産の売却による収入	100
無形固定資産の取得による支出	17,275
投資有価証券の取得による支出	105,635
投資有価証券の売却による収入	85,283
長期貸付金の回収による収入	195,339
長期貸付けによる支出	330,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	1,282,345
子会社株式の取得による支出	27,405
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,538,566
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	985,000
長期借入金の返済による支出	109,470
自己株式の取得による支出	8,405
自己株式の売却による収入	45,493
配当金の支払額	272,828
財務活動によるキャッシュ・フロー	639,790
現金及び現金同等物に係る換算差額	44
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	521,411
現金及び現金同等物の期首残高	1,790,154
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,268,742

【継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況】

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	
1	<p>連結の範囲に関する事項の変更</p> <p>以下の子会社2社は全て連結しております。 (連結子会社)</p> <p>協立食品㈱ ユニテックフーズ㈱</p> <p>なお、当連結会計年度の第1四半期連結会計期間において、ユニテックフーズ株式会社の87.8%の株式を取得したことにより同社を子会社とし、当連結会計年度の第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。</p>
2	<p>会計処理基準に関する事項の変更</p> <p>(1)重要な資産の評価基準及び評価方法の変更</p> <p>たな卸資産</p> <p>通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として先入先出法による原価法によっておりましたが、当連結会計年度の第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として先入先出法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。</p> <p>これによる損益に与える影響は軽微であります。</p>
3	<p>連結子会社の事業年度等に関する事項</p> <p>連結子会社ユニテックフーズ株式会社の決算日は3月31日であります。</p>

【簡便な会計処理】

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理】

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

該当事項はありません。

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	
1	<p>のれんの発生及び償却</p> <p>当連結会計年度の第1四半期連結会計期間において、ユニテックフーズ株式会社を連結子会社としたこと及びその後の追加取得に伴い、のれんが発生いたしました。</p> <p>のれんの償却については、当第2四半期連結会計期間より、投資効果の発現する期間(12年間)にわたり、均等償却しております。</p>
2	<p>有形固定資産の耐用年数の変更</p> <p>当社の機械装置については、従来、耐用年数を7~16年としておりましたが、当連結会計年度の第1四半期連結会計期間より法人税法の改正を契機とした見直しを行い、5~10年に変更しております。</p> <p>これによる損益に与える影響は軽微であります。</p>

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
注1	注1 預け金 不動産事業に係るものであります。
注2 その他(流動資産) 不動産事業に係る未収入金が1,077,518千円含まれております。 (追加情報) 不動産事業に係る未収入金は、当第2四半期連結会計期間における共同事業主への物件引渡し及び回収条件変更に伴い、不動産事業に係る「預け金」から振替えられたものであります。なお、当該未収入金の回収につきましては(重要な後発事象)に記載のとおりであります。	注2
注3 有形固定資産の減価償却累計額 2,275,612千円	注3 有形固定資産の減価償却累計額 2,188,532千円
4 偶発債務 (1) 債務保証 次の関係会社について、金融機関からの借入れに対し債務保証を行っております。 太平洋製糖株 1,868,666千円 南栄糖業株 129,432千円 なお、上記南栄糖業株に対する債務保証のうち、120,411千円については、「持分法適用に伴う負債」に計上しております。 (2) 再保証 次の関係会社が負っている納税債務に関して金融機関が行っている履行保証に対し下記金額を上限として再保証を行っております。 太平洋製糖株 120,000千円	4 偶発債務 (1) 債務保証 次の関係会社について、金融機関からの借入れに対し債務保証を行っております。 太平洋製糖株 2,053,000千円 南栄糖業株 129,432千円 なお、上記南栄糖業株に対する債務保証のうち、108,322千円については、「持分法適用に伴う負債」に計上しております。 (2) 再保証 次の関係会社が負っている納税債務に関して金融機関が行っている履行保証に対し下記金額を上限として再保証を行っております。 太平洋製糖株 120,000千円

(四半期連結損益計算書関係)

第2四半期連結累計期間

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	
注1 販売費及び一般管理費の主要な費目と金額は、次のとおりであります。	
販売奨励金	232,906千円
販売手数料	79,361千円
貸倒引当金繰入額	68千円
運賃	269,414千円
役員報酬	73,271千円
執行役員報酬	39,342千円
給料手当	187,001千円
減価償却費	34,306千円
賞与引当金繰入額	65,002千円
役員賞与引当金繰入額	6,420千円
退職給付費用	17,052千円
役員退職慰労引当金繰入額	11,405千円
租税公課	12,036千円
のれん償却額	24,280千円

第2四半期連結会計期間

当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	
注1 販売費及び一般管理費の主要な費目と金額は、次のとおりであります。	
販売奨励金	130,256千円
販売手数料	40,672千円
貸倒引当金繰入額	40千円
運賃	141,072千円
役員報酬	41,195千円
執行役員報酬	22,905千円
給料手当	116,043千円
減価償却費	20,771千円
賞与引当金繰入額	38,287千円
役員賞与引当金繰入額	3,210千円
退職給付費用	10,184千円
役員退職慰労引当金繰入額	7,105千円
租税公課	7,831千円
のれん償却額	24,280千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	
注1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係	
現金及び預金勘定	1,149,777千円
有価証券勘定	121,965千円
計	1,271,742千円
預入期間が3か月超の定期預金	3,000千円
現金及び現金同等物	1,268,742千円

(株主資本等関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日
至平成20年9月30日)

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当第2四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	29,748,200

2 自己株式に関する事項

株式の種類	当第2四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	2,336,276

3 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成20年5月15日 取締役会	普通株式	利益剰余金	272,828	10.00	平成20年3月31日	平成20年6月6日

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

デリバティブ取引の四半期連結会計期間末の契約額等は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(ストック・オプション等関係)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)

	精糖 (千円)	機能性素材 (千円)	不動産 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	3,114,462	1,195,992	165,051	4,475,506		4,475,506
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高		26	277	303	(303)	
計	3,114,462	1,196,018	165,329	4,475,809	(303)	4,475,506
営業利益 又は営業損失()	242,048	7,859	142,044	376,233	(41,488)	334,745

- (注) 1 事業区分の方法は、内部管理上採用している売上集計区分によっております。
 2 各事業の主要な製品または業務
 (1) 精糖..... 精製糖、液糖及び糖蜜
 (2) 機能性素材..... 食品添加物、切花活力剤、イヌリン及びペクチン等の機能性食品素材
 (3) 不動産..... 不動産賃貸等
 3 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用(41,488千円)は、親会社の管理部門及び研究開発室に係る費用であります。

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

	精糖 (千円)	機能性素材 (千円)	不動産 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	6,031,972	1,419,150	329,918	7,781,040		7,781,040
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高		138	555	693	(693)	
計	6,031,972	1,419,288	330,473	7,781,734	(693)	7,781,040
営業利益 又は営業損失()	474,501	29,377	288,007	733,131	(97,948)	635,182

- (注) 1 事業区分の方法は、内部管理上採用している売上集計区分によっております。
 2 各事業の主要な製品または業務
 (1) 精糖..... 精製糖、液糖及び糖蜜
 (2) 機能性素材..... 食品添加物、切花活力剤、イヌリン及びペクチン等の機能性食品素材
 (3) 不動産..... 不動産賃貸等
 3 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用(97,948千円)は、親会社の管理部門及び研究開発室に係る費用であります。
 4 当連結会計年度の第1四半期連結会計期間においてユニテックフーズ株式会社を子会社化したことに伴い、機能性素材事業において資産の額が前連結会計年度末と比較して2,168百万円増加しております。

【所在地別セグメント情報】

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)
 在外子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)
 海外売上高がないため、該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
414.05円	414.41円

(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎

項目	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度 (平成20年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	11,415,984	11,306,243
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	66,172	
(うち少数株主持分)	(66,172)	
普通株式に係る純資産額(千円)	11,349,811	11,306,243
普通株式の発行済株式数(千株)	29,748	29,748
普通株式の自己株式数(千株)	2,336	2,465
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数(千株)	27,411	27,282

2 1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日至平成20年9月30日)
1株当たり四半期純利益 10.91円	1株当たり四半期純利益 2.65円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
 2. 1株当たり四半期純利益の算定上の基礎

項目	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日至平成20年9月30日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益(千円)	298,001	72,353
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益(千円)	298,001	72,353
普通株式の期中平均株式数(千株)	27,318	27,345

(重要な後発事象)

当第2四半期連結会計期間
(自平成20年7月1日
至平成20年9月30日)

不動産共有持分譲渡契約の締結

不動産事業に係る未収入金の回収に関し、平成20年10月17日開催の取締役会にて他の共同事業主である株式会社中央コーポレーションとの間において不動産共有持分譲渡契約締結の決議をいたしました。当該決議に基づき平成20年10月30日付で契約を締結し、当社は、該当物件を販売用不動産として取得することにより未収入金を回収いたしました。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年11月7日

フジ日本精糖株式会社
取締役会 御中

監査法人トーマツ

指定社員 公認会計士 宮坂 泰行
業務執行社員

指定社員 公認会計士 山澄 直史
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているフジ日本精糖株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成20年7月1日から平成20年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、フジ日本精糖株式会社及び連結子会社の平成20年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。